

Model Course ③

飯盛山から札立山

役行者の母公が眠るといふ高仙寺から好展望の飯盛山、札立山を経て鳴滝不動尊へ下る行場めぐり

本コースは、経塚こそないが、葛城修験の重要な行場が多い。筆頭は孝子観音で知られる高仙寺で、役行者の母、白専女のもと伝わる墓がある。

孝子駅を出て、線路沿いに和歌山方面へ進んで踏切を渡る。「かんおんみち」の大きな石標が立っている。道なりに行くとき孝子観音の道標があるので山裾を登っていく。尾根に着いたら山門が見え、階段が続いている。白専女の墓は、本堂の左手の山道に入ったところにある。

高野山を経て、飯盛山を目指す登山道は、本堂の右から続いている。高野山まではひと登りだが、藤戸山を経て札立山分岐までは、アップダウンが続き、決して楽な道ではない。

札立山分岐まで来ると、飯盛山山頂は近い。登り始めると左手に千間寺跡があり、井戸跡と2つの祠が祀られている。葛城修験第四の行場であったという。傾斜がなくなると山頂はすぐそこだが、展望台手前に碑伝の置かれた石祠がある。展望台からは大阪湾が一望できる。

分岐に戻り、札立山を目指す。こちらはアップダウンが少ない快適な尾根道だ。札立山山頂もベンチがいくつも置かれ、南東の展望がよい。

札立山からは道標にしたがい南へ、鳴滝不動尊を目指す。500mほどで、道標を見逃さずに左の尾根へ。不動山を過ぎてひとつピークを越えたと急坂となって、未舗装林道に下り立つ。林道を右に行くと、しっかりした道に出て左で、鳴滝不動尊に着く。正しくは鳴滝山圓明寺といい、独特の神妙な空気が漂っている。

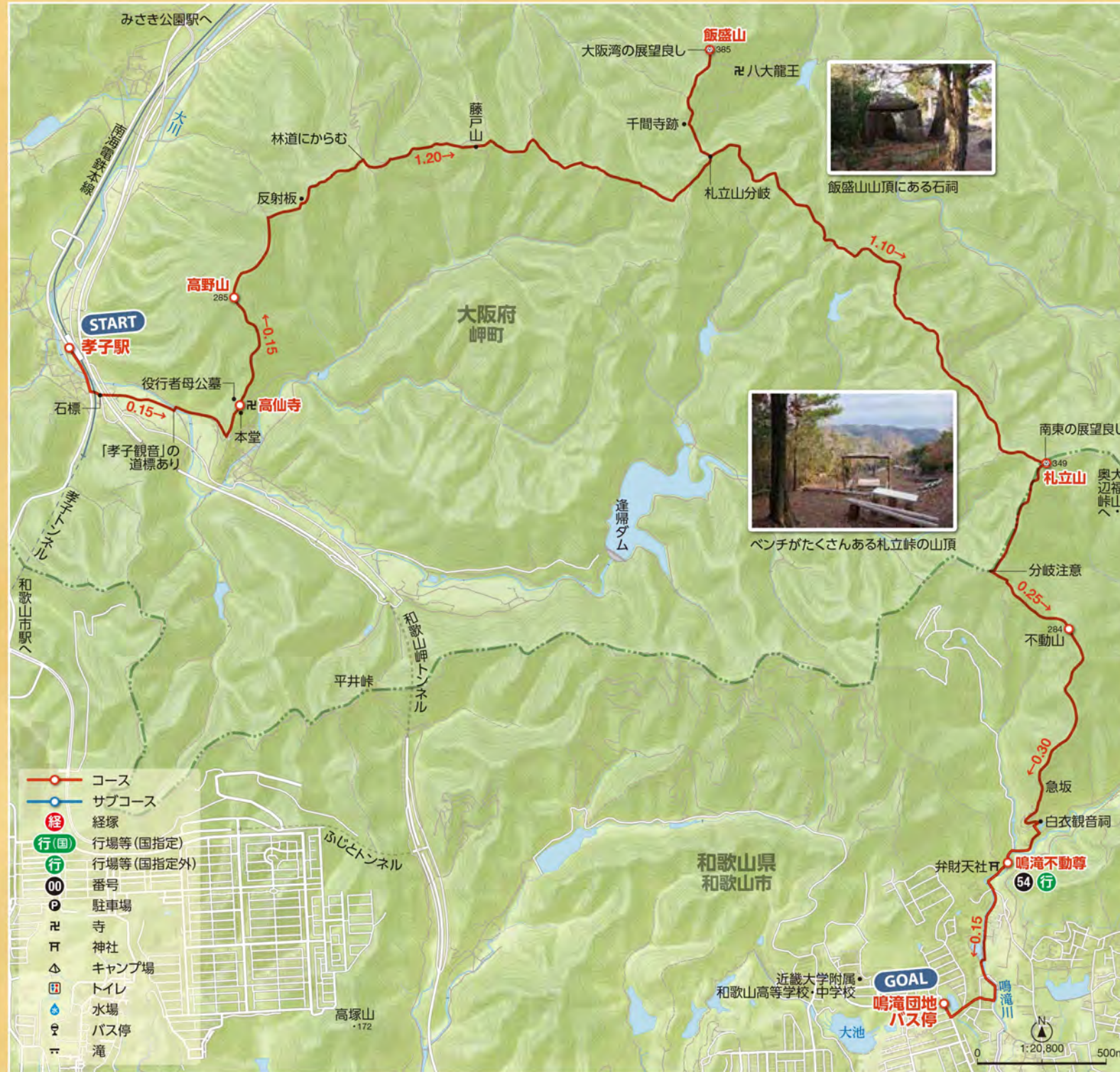
不動尊から進むと、明るい道路に出る。しばらく川沿いに歩き、十字路は直進、次の角で右折してゆるやかな坂道を登る。池を過ぎたら鳴滝団地バス停がある。

歩行距離 ◆ 約10km  
歩行時間 ◆ 4時間10分

体力レベル ★★  
登山レベル ★★



※歩行距離は水平距離、コースタイムは一般的なペースで歩いた場合の休憩時間を含まない参考タイムです。



※実際の修行の道とは異なります。

コース情報



役行者の母公の墓がある高仙寺。飯盛山の登山口



飯盛山と札立山をつなぐ尾根道。起伏が少なく歩きやすい



展望デッキが設けられた飯盛山山頂は大阪湾の展望台



鳴滝不動尊の圓明寺。独特の神妙な雰囲気漂う

アクセス



アドバイス

本コースは登山になるので、足回りはトレッキングシューズなど、しっかりした靴で臨みたい。高野山から藤戸山周辺は林道が交錯するが、道標を確認すること。また、札立山の南の尾根で不動山への尾根に入るところも注意しておきたい。鳴滝団地から和歌山市駅へのバスは比較的便数も多い。